

日本初となる、IP電話端末と関連機器の専門ECショップを開設

「VoiPshop(ブイ・オー・アイ・ピーショップ <http://shop.agile.ne.jp>)」

<アジルネットワークス株式会社 報道発表資料>

IP電話を革新するテクノロジーを提供する、アジルネットワークス株式会社(本社:東京都港区 代表取締役:篠田亘司 以下アジルネットワークス)は、本日2007年6月7日より、IP電話機専門のECショップ「VoiPshop(ブイ・オー・アイ・ピーショップ <http://shop.agile.ne.jp> 以下、VoiPshop)」をオープンすることを発表します。

IP電話関連機器の2006年の日本国内出荷額は、1073億円(前年比109.7%)と大幅な成長を見せている中、IP電話機端末のシェアの大半を占める海外の主なメーカーブランド(リンクシス、グランドストリーム、スノム、ノキア)のIP電話機は日本に輸入されていない現状があります。購入需要が年々増加しているにもかかわらず端末の供給元がないため、IP電話関連サービスを提供している当社には、IP電話サービスの導入を希望する個人や企業から、IP電話機端末ショップの実現を求める声が数多く寄せられていました。

今回オープンする「VoiPshop」では、海外の主なメーカーブランド(リンクシス、グランドストリーム、スノム、ノキア)はもちろん、国内のメーカーの製品も含めてIP電話機を選ぶことができます。デザイン・機能・価格など好みにあった電話端末を選択可能です。決済手段は、クレジットカード決済、商品代引き、銀行振り込みに対応しています。

「VoiPshop」では、IP電話機だけではなく、アジルネットワークスが提供中の個人向けIP電話サービス「アジルフォンPRO」、法人向けIP-PBX(IPを使った回線交換機)のシステム期間貸しサービス「アジルフォンbiz」やノキア製キャリアフリー端末E61を利用したモバイルセントレックスサービス「アジルフォンbizモバイルセントレックスサービスfor Nokia E61」の申し込みも可能なサイトとなっています。アジルフォンのサービスをご利用になる場合は、電話端末をご購入いただいた後に、申し込んでいただくと即時利用が可能となります。

アジルネットワークスのメイン事業は、本来IP-PBX(IPを利用した回線交換機)のASP(システム期間貸し)事業など、IP電話のインフラ事業ではありますが、国内のIP電話関連機器の供給体制が遅れている現状を踏まえ、自ら関連機器の供給事業も並行して行うことで市場の底上げをしてみたいと考えています。

アジルネットワークスでは、「VoiPshop」での販売事業を通じて、初年度2万台の端末および関連機器の販売を予定、1億円の売上を計画しています。

VoipとはVoice over Internet Protocolの略インターネットやイントラネットなどのTCP/IPをネットワーク使って音声データを送受信する技術。社内LANを使った内線電話や、インターネット電話などに応用されている。

【「VoiPshop(ブイ・オー・アイ・ピーショップ <http://shop.agile.ne.jp>)」の3大特徴】

国内に輸入されていない、メーカーブランドIP電話機(リンクシス、グランドストリーム、スノム、ノキアなど)の商品を含めIP電話機10種類

を購入可能(*年内に50種類を購入できる体制にしていく予定)

IP電話機を購入後、即時IP電話サービス「アジルフォンPRO」

「アジルフォンbiz」「アジルフォンbizモバイルセントレックスサービスfor Nokia E61」

の申し込みも可能

プロユース、システム構築担当者向けにVOIP機器(SIPサーバ、IP-PBXアプライアンス、ルーター、PCに差し込むボードなど)を販売



【「アジルフオンPro」詳細】

アジルフオンPROは、個人向けのインターネット電話 / IP電話サービスです。プロバイダに制約を受けることなく、自宅にいても、オフィスや海外にいてもインターネットにさえつながればご利用できます。

< 主な特徴 >

独自の音声リレーにより携帯電話並みの音声品質を実現しています。

申し込みの際に、一般電話番号オプションを追加すると、03番号で発着信することができます。

IP電話機以外にもSIP対応の電話機であれば大抵の機種で利用可能です。

 agilephone pro
Agile Sip Technology

【「アジルフオンbiz」詳細】

従来のPBXの機能をASPにて提供するサービスです。

オープンソースのIP電話サーバソフト「Asterisk (*1)」をベースに

自社開発を行い、IP - PBXの機能をソフトウェアで提供します。

これにより、高額なPBX装置の購入や工事費用が不要となり、

ビジネスフォンの導入費用が従来の10分の1以下に削減できます。(初期費用3万円、月額基本料金3千円～)

「アジルフオンbizモバイルセントレックスサービス for Nokia E61」は、「アジルフオンbiz」に、ノキア・ジャパン株式会社の販売する企業ユーザー向け3Gモバイル・デバイスNokia E61を組み合わせることで、安価な導入コストでモバイルセントレックス(*2)を実現するものです。

< 主な特徴 >

ブラウザ上にて様々な設定(内線設定や転送設定、ボイスメールなど)が可能です。

通話料金も拠点間通話無料、アジルフオン同士も無料などコストの軽減が図れます。

拠点間通話料金無料・会員同士の通話料無料。

オープンソースであるAsteriskベースのため、汎用性が大きい、機能拡張も可能。

 agilephone biz
Agile Sip Technology IP CENTREX 2.0

1「Asterisk」について

オープンソースのIP電話サーバソフト。IP - PBXの機能をソフトウェアで提供しています。Asteriskは1999年にDigium社のMark Spencer氏が開発を始めたもので、2004年9月に最初の正式版が公開されました。オープンソースソフトウェアとしてGPLに基づいて公開されており、誰でも自由に入手して利用したり、手を加えることができます。Asteriskはアナログ回線やISDN、SIP、H.323、MGCPなど様々な回線やプロトコルに対応し、IP電話の回線交換機(PBX)やプロトコル変換ゲートウェイとして利用できます。多人数による電話会議やボイスメール、音声自動応答(IVR)などの機能もサポートしており、他のアプリケーションソフトと連携するためのAPIも公開されています。

従来、IP-PBXは高価な専用のハードウェアとソフトウェアを組み合わせた大規模で複雑なシステムが多くありましたが、Asteriskを利用すればLinuxなどをインストールした一般的なパソコンに導入するだけで手軽にIP-PBXを実現できます。

2「モバイルセントレックス」について

従来、企業などの内線電話はPBX(構内交換機)と呼ばれる機器を建物内に設置して運用する必要がありましたが、近年では電話をIP化してPBXを排除し、IP電話サーバーの運用を通信事業者が請け負う「IPセントレックス」が注目されています。モバイルセントレックスでは固定電話機と建物内の回線網も排除してしまい、個々人の持つ携帯電話を内線電話機に利用します。これにより、配置転換やレイアウト変更に伴う配線工事やPBXの設定変更等は一切不要になるほか、常に持ち歩く携帯電話では「席を外す」ことがなくなり、電話を取り次ぐ必要もなくなります。オフィスの内外を問わず常に連絡できます。

【アジルネットワークス株式会社 会社概要】

社名:アジルネットワークス株式会社 (英文名: Agile Networks, Inc.)

本社:〒106-0032 東京都港区六本木3-4-35 落合三幸ビル7F

TEL:03-5575-6630 FAX:03-5575-0655 E-mail:pr@agile.ne.jp

URL:www.agile.ne.jp

代表取締役:篠田 亘司

設立:2005年6月

資本金:160,644,900円

本リリースに関する報道関係者様のお問い合わせ先
アジルネットワークス株式会社 広報事務局(株式会社フルフォース内)
担当:中野、池田、武井
TEL:03-5297-1662/FAX03-5297-2096
E-mail:agile@fullforce.jp/URL:http://www.agile.ne.jp